

平成 18 年度

小中手沢通常砂防事業全体計画書(案)

諸元及び全体計画書 (No.)

栃木県

河川名	級	水系名	幹川名	溪流名	施工位置		郡市	町村	字	防地	告示	年月日
	一級	とねがわ 利根川	なんまがわ 南摩川	こなかくさわ 小中手沢	かぬまし 鹿沼市	かみなんま 上南摩町	ぞうま 象間	砂指定	号	建告	平成 年 月 日	
計画諸元	砂防計画 基準点位置	流域面積 km ²	最大 時間雨量 mm	最大 洪水流量 m ³ /sec	比流量 m ³ /s/km ²	計画超過 土砂量 m ³	既設 砂防設備	設備状況	土砂抑止量 m ³	整備率 %		
	南摩川合流点	0.82	67.4	10	12.0	0						
事業効果	人家	耕地	道路	橋梁	公共施設等		流域状況	地質	林相	その他		
	戸	ha	m	基				中生代(含レキ砂質泥岩、 チャート)	広葉・針葉樹林			
構造物	工種	高さ	長さ	積積 立面	計貯砂量 m ³	計画河床勾配	事業費 千円	着工・完成年度	工事測量	地質調査		
	下記を参照	下記を参照	下記を参照	下記を参照	下記を参照	平均 1/15 溪流保全工 1/80	620,000	H18~H22				
他事業関係(内容)												備考

工種	高さ	長さ	立面積	計貯砂量	事業費(百万円)
堰堤工1	9.0m	48.0m	2,000m ³	11,200m ³	171
堰堤工2	8.0m	45.0m	1,800m ³	10,500m ³	161
溪流保全工	L=1.040m		5,814m ²		288

施行理由書

栃木県

河川名	級	水系名	幹川名	溪流名	工事種等
	一級	とねがわ 利根川	なんまがわ 南摩川	こなかてざわ 小中手沢	堰堤工2基、溪流保全工

(施工理由)

本溪流は、中生代(含レキ砂質泥岩、チャート)からなる流域面積0.82km²で、上流部は広葉・針葉樹林がほとんどである丘陵山岳地であり、山腹崩壊が多く出水時には多量の土砂を流出している平均河床勾配は1/15と急峻で、豪雨の際の度重なる出水により河床の低下が著しく、また河岸の浸食も相当進んでいる。

保全区域には、南摩ダム集団移転地、人家、県道等があり、豪雨出水時には県道等への浸水が度重なっている。

このため、堰堤工2基と溪流保全の整備をもって流出土砂の防止を図ることによって、災害の発生を未然に防ぎ民生の安定を図るものである。

年度別事業計画書

栃木県

対象番号	水系名	幹川名	溪流名	郡市	町村	字	工種		備考				
							堤防工2基、溪流保全工		第3年度	第4年度	第5年度		
	とねがわ 利根川	なんまがわ 南摩川	こなかてざわ 小中手沢	かぬまし 鹿沼市	かみなんまち 上南摩町	むつま 象間	堤防工2基、溪流保全工						
		全体		第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度					
高さ	(m)	堰堤 溪流保全工	17.0 1,040	堰堤No.1 7.0	堰堤No.1 2.0	堰堤No.2 6.0	堰堤No.2 2.0	堰堤No.2 245	溪流保全工 795				
長さ	(m)	堰堤	93.0										
立積	(m3)		3,800										
面積	(m2)		5,814										4,444
補償工事			付替道路		付替道路	付替道路	付替道路	付替道路	付替道路				付替道路
資材運搬道路	(m)		1,000		300	250		300	150				
事業費	(千円)		620,000	30,000	170,000	135,000	150,000	135,000	135,000				135,000
本工事費			338,000	0	65,000	28,000	33,000	37,000	120,000				
補償工事費			80,000	0	53,000	5,000		12,000	10,000				
測量及び試験費			88,000	20,000	18,000	15,000		35,000	-				
用地及び補償費			89,700	9,200	27,000	26,500		27,000	-				
その他			24,300	800	7,000	5,500		6,000	5,000				5,000

工事実施箇所概要

栃木県

河川名	利根川支川	思川	川	南摩川	小支	小中手沢
施工地	栃木	鹿沼	郡市	上南摩	大字	上南摩町
流域面積	0.82	平方キロメートル	平均河床勾配	1	15	地先
河幅	最大 5.0	メートル	最小 2.0	メートル	平均 3.0	メートル
転石の大きさ	最大径 1.0	メートル	平均径 0.1	メートル		メートル
最大洪水量	10	立方メートル/秒	推定年間流出土砂量	2,900	立方メートル	
比流量	12.0	立方メートル/秒/平方キロメートル	施工地点から河口までの距離	0.9	キロメートル	
気象	最大継続雨量	シメ メートル (年 月 日 ~ 月 日迄 日間)	最大日雨量	シメ 259.5	メートル (H33年 8月 20日)	
	最大時間雨量	シメ メートル (年 月 日)	最大積雪高	メートル	その他	
地質	中生代(含レキ砂質泥岩、チャート)	林相	広葉・針葉樹林			
過去の大災害 年次	-	上流の崩壊地	箇所数	5.0	面積	10.0
既設 砂防工作物	-	下流河川の改修状況				
将来計画 砂防工作物	堰堤工2基、溪流保全工1,040m					未改修